

あいサポーター研修 実施報告書

報告者 副会長 二村 美里

開催日程：令和5年6月1日（木）13時20分～15時

開催場所：静岡大学教育学部附属浜松中学校

開催事業：あいサポーター研修

参加者：講師 増田 梓（令和4年度全附P連顧問）

講師補佐 二村 美里（令和5年度全附P連副会長）

受講者 静岡大学教育学部附属浜松中学校全校生徒 322名 教職員 保護者有志

開催理由・背景

障がいへの理解・啓発を目的とする「あいサポート運動」に関心を寄せていただいた「静岡大学教育学部附属浜松中学校PTA」の依頼により実施しました。

特別支援学校が併設されていない浜松中において、少しでも福祉について関心を高めたいという主催者の希望の役に立てばと開催を決定いたしました。

当日の様子

通常のあいサポーター研修は、講演＋動画視聴＋車椅子実習という形でのスタイルがこれまでの主流でしたが、今回は、全校生徒322名が参加ということで、車椅子の実習を全員に体験してもらうことは難しいということ、また代表生徒だけが体験するというのも趣旨と反すると判断し、車椅子実習をなくした研修となりました。

それに変わり、厚手の手袋をはめて折り鶴を折る実習や、バリアフリーユニバーサルデザインの〇×クイズ、グループトークなどを取り入れました。

動画は前日に道德の時間に視聴し、当日は、①講演 ②実習 ③クイズ ④グループトーク ⑤発表 の流れで研修が進められました。子どもたちは積極的な意見交換を行い、クイズでは歓声があがるなど、中学生が自ら参加し楽しく学ぶ研修となりました。

また当日の様子は、ZOOM配信を行い保護者も閲覧していただき子どもたちと研修を共有していただきました。

所感

「あなたは今日障がいをもった人を何人見かけましたか？」研修の冒頭と最後、増田顧問から子どもたちに投げかけられたメッセージです。子どもたちがその意味を懸命に考えていたのが印象に残っています。

「ひとりみんなのために みんなはひとりのために」一人一人の個性を認め合い支え合って、仲間の輪を広げていきたいと実感いたしました。

また、今回の研修では増田顧問が経験を踏まえた形にこだわらない研修を実施していただき、大成功となりました。このスタイルでの研修の大成や情報発信を今後も継続していきたいとあらためて感じた研修となりました。

